



2017年5月10日発行

2017年5月号(通算200号)

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102
TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

【2016～2017主題】

国際会長 Joan Wilson
アジア地域会長 Tung Ming Hsiao
東日本区理事 利根川 恵子
あずさ部長 浅羽 俊一郎
東京武蔵野多摩会長 山口 直樹

「Our Future begins Today」
「Respect Y's Movement」
「For the Future, Act Today!」
「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ!」
「一步一步前に進もう。Yと共に!」

【クラブ役員】

会長 山口直樹
副会長 板村哲也
副会長 伊佐節子
会計 宮内友弥
書記 渡辺大輔

2017年
今月の聖句

それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。(コリントの信徒への手紙一 13章13節)

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAに尽くそう
1. 世界的視野をもって国際親善を図ろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
1. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員を啓発し積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

5月例会プログラム

強調月間：EF/JEF
日時：5月10日(水) 19:00～21:00
場所：東京YMCA西東京コミュニティセンター
司会：渡辺 受付：宮内、大輪
ドライバー：野尻

- * 開会点鐘(会長)
- * ワイズソング(全員)
- * ゲスト・ビジター紹介(会長)
- * 聖句朗読(小坂)
- * 夕食
- * パネルディスカッション
『リーダーたちとの懇談』
- * YMCA報告
- * ハッピー・バースデー
- * にこにこ
- * 閉会点鐘(会長)

- * 今月のハッピーバースデー
27日：清水彰直さん
29日：出沼一弥さん

4月例会報告

在籍者	13名
出席者	10名
メーキャップ	0名
出席率	77%
ゲスト	1名
ビジター	1名
ネット・コメット	0名
にこにこ	8,114円

テーマ「リーダーたちとの懇談」

＜パネルディスカッション内容紹介＞

3人のリーダーたちに出席してもらい、今思っていることなどを話していただき、私たちも同じ土俵に立って今現在の様々なことを共に考える時間にしたいと思います。

今出来る事、今やらなければいけない事

麻生由美子

昨年2016年4月12日付読売新聞の『酸いも甘いも』に載せていた文章です。

「今月自宅近くにパティシエの息子がスイーツカフェを開きます。実は私も自宅の一部を利用して認知症の方や、ご家族子育てに奮闘中のママさんたちが気軽に集えるカフェを開きたいという夢を持っています。

学生時代はYMCAやボランティア活動に励み卒業後はずっと介護の仕事をしてきました。その中で認知症の方の見守りのような介護保険の利かない部分を地域でカバーすることがとても大切だと感じたのです。

自分の介護や子育ての経験を生かせ、素敵な出逢いと息子が作った美味しいケーキを提供できる憩いの場を一日でも早く作れるよう頑張ります」

そして、1年経過して息子のスイーツカフェは地域の皆様に支えていただき頑張っています。そしてソロソロ私も今出来る事、今やらなければいけない事をY'sの素敵な仲間の皆様と考え、そして実行していけたらと考えている今日この頃です。

2017年4月例会報告

日時 4月12日(水) 19時～

会場 東京YMCA西東京コミュニティーセンター

司会：清水 受付：山本 ドライバー：野尻

メンバー：10名 ビジター：1名(山手・中村氏) ゲスト：1名(中村氏友人・鈴木氏)

卓話者：秋田 正人氏(東京YMCA職員)

「新しいYMCA活動の提示」

4月例会は、東京YMCA職員、秋田 正人氏をお迎えして、これまで関わってこられたYMCA活動およびワイズ活動の内容と、これらを通して考える望ましいYMCA活動についてお話を聞かせて頂いた。秋田さんは一時我がクラブのメンバーが苦楽を共にした方である。

YMCA歴は下記の通りで、何かを変えていく現場に立つことが多かった由で、それぞれの場所での変革への取り組みにつき具体例を交えてお話があった。

東京YMCAに就職した時代

栃木YMCA出向時代

Liby立ち上げから今日まで

大阪YMCA、熊本YMCA出向時代

また、ワイズ歴としては、3つのクラブ(那須ワイズメンズクラブ、たんぽぽクラブ、セントラルクラブ)のチャーターメンバーとして新クラブの立ち上げに活躍された。

YMCAのあり方については、これまではYMCA内部の人たちが、自分達はどうありたいのかを考えてビジョンを作り、自分達だけで行動してきたが(自己満足的、自己完結的)、これからは内側から見るのではなく、外部の目でリサーチし、客観的に見てYMCAはどうあるべきかというビジョンを作り行動することが必要との提言があった。YMCAの強みを生かしながらも資源(人、金、もの)を広くYMCA外に求め、オープンで柔軟な組織を作って地域社会の課題に取り組み、活動の果実を地域社会に帰属させる活動に変えていくことが必要との提言があった。

最後に現在YMCAが全国ベースで取り進めている新しいブランディングの説明があり、東京YMCA西東京コミュニティーセンターと私たちのクラブで今後を考える際のヒントになればとのことであった。

YMCAブランドのコンセプトは「ビジョン(実現したい世の中の姿)」、「バリュー(関係者に提供を約束する価値)」、「パーソナリティ(ブランドとして備えているべき個性、らしさ)」から成っている。

このビジョン(理想像)でYMCAは「互いを認め合い、高め合う『ポジティブネット』のある豊かな社会を創る」としている。「ポジティブネット」とは互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのことで、課題の多い社会の中で、生きるための一つの選択肢となっていくもの。日本のYMCAは、グローバルなネットワークを活かしてポジティブネットを広げ、希望あるより豊かな社会を創るとしている。

私たちも新たな地域活動の展開を積極的に試みる必要があると思う。

(記録：伊佐 節子)

[強調月間コーナー]

5月：EF/JEF

EFとはEndowment Fund(信託基金)の略称で、国際ワイズダム発展のために会員やクラブからの寄付、遺贈、献金などによって集められた特別基金です。

EFは、1955年にワイズの事業発展のために基金として設立され、1985年に国際協会が運営する緊急用基金であったCapital Reserve Fundを吸収して、現在の名称になりました。かつて、米国シカゴにあった国際協会事務所の売却代金も加えられています。献金額は任意ですが、100米ドル以上の献金の場合、国際本部事務所にあるGolden Bookに記載され、永久保存されます。

JEFはJapan East Ysmen's Fund(東日本区ワイズ基金)の略です。1975年第51回熱海国際大会後に、大会開催のために日本区のワイズメン全員が2年間にわたって積み立てた拠出金を含む大会剰余金を基本財産として「アタミ基金」として設置されました。その後、1982年に日本ワイズメン基金(Japan Fund)と名称を変更し、EFにならって「奉仕帳」を作り、献金した人の氏名、献金理由を記録してきました。1997年に東日本区、西日本区の発足にあたり日本ワイズメン基金を分割し、新たに東日本区ワイズ基金(JEF)を設置しました。クラブの記念行事、個人の冠婚葬祭などを記念しての献金を受け付けています。東日本区ワイズ基金運営規定が制定され、これに基づき運営されています。

(TM)

くにたちさくらフェスティバル

板村哲也

日時：2017年4月1日（土）、2日（日）
 会場：国立市谷保第三公園
 主催：第40回くにたちさくらフェスティバル実行委員会
 CS活動の一つとして、今年も東京YMCA西東京センターと協働でくにたちさくらフェスティバル（第40回）に参加しました。

東京の桜の開花は早かったものの、当日は二分咲き程度。初日は小雨交じりで肌寒く来場者が多くなかったのですが二日目は好天で来場者が多く、両日で会場と来場者の雰囲気が大きく異なりました。

今年私たちは出店区画を3区画（去年の1.5倍）確保してこの中で人の動きが出るようにアレンジしました。西センターでは子供達の遊び場を作り、すべて手作りのゲーム4つ（ストラックアウト、輪投げ、紙コップ競争、まちがい探し）を提供。ゲームの内容と場所の設定が上手くゆき、子供とリーダー、さらに保護者との交流でほのぼのとした雰囲気が感じられるコーナーとなりました。時々楽しい歓声も上がっていました。地域の皆さんにYMCAのよいアピールが出来たことと思います。当クラブではクラブ紹介パンフレットの改訂版を配布。クラブ名入りの帽子やエプロン（それぞれ試作品）の着用も。恒例のバザーは昨年より献品が少なかったものの、売上は昨年とほぼ同じの3万数千円となりました。

本イベントへの参加についてはあずさ部よりCS資金の支援を頂いており、バザーの売上と合わせ諸経費控除後の金額を西東京コミュニティーセンターの活動資金として寄付させて頂きます。



フェスティバルの準備会、当日の運営およびフェスティバル終了後の打ち上げ、評価会をリーダーとワイズの合同で行いましたが、これらを通じて両者の距離が一段と近くなったと感じられました。皆さまご協力有難うございました。

以上



香港訪問記

宮内友弥

毎年、交互に訪問しあっているIBC 香港 Tsing Sha Tsui Club (TST) との交流で今年は東京武蔵野多摩 (TMT) が出かける番。4月20日から4泊5日のスケジュールで訪問、我々夫婦は4月20日午後香港へ到着、ホテルチェックイン後、早速夜7:00からのT.S.T.36周年記念例会の会場である香港YMCAに向かい、山田さんご夫妻とも合流し出席。全会員18名中出席者はクリス会長、シャロン副会長、フレデリック、アンディ、ローズ、ジョレンスを含め10名のほか香港YMCA総主事ピーター・ホー氏がゲストとして出席されていた。食事をしながら歓談、当方からはTMTの活動状況など近況を報告し、最後に"36th Anniversary"と記されたケーキにナイフを入れて36周年を祝って閉会となった。



4月21日は、ローズ、シャロン、クリスの案内で東洋随一とも言われるオーシャンパークへの観光に出かけ、夜は広東料理を楽しんだ。

翌4月22日は、TSTがCS事業として香港YMCAと共同で行っている東涌 (Tung Chung) 地区低所得者用住宅の高齢者家庭支援活動に参加した。朝10:30香港YMCA東涌センターに到着、調味料を一切使わず、栗、人参、大豆、レンコンを電気釜で2時間煮て作った野菜スープを魔法瓶に入れて、準備完了。暖かいスープとプレゼントの品（リクエストに応じて準備した電気炊飯器、フライパンなどの日用品）を持って、3グループに分かれ9人の独居のお年寄りをそれぞれ30分ほど訪問し、話をお聞きした。このCS事業は、香港YMCAが企画しTSTがスポンサーとして活動しているものだが、YとY'sの見事な連携を感じ取る事が出来た。



来年はTSTが4/6~8に来京する予定を約束、充実した5日間に感謝し4/24午後の便で帰路についた。

以上

初めてのフライングディスク大会

山口直樹

4月22日に今年で7回目を迎える富士五湖クラブ主催の「障がい者フライングディスク大会in郡内」に初参加した。詳しい内容は富士五湖クラブからブリテンなどで報告されると思いますので、感想を少し。

富士吉田市も全面的に応援している大会で、地域の自立支援施設に通われている方たちが今年は13施設より100名以上の参加。初参加の方もいたが、毎年参加され、昨年よりも良い成績をと張り切っている方もたくさん。まさに地域に定着し、拡大している大会であると実感した。私は召集係をさせていただき参加者との触れ合いもでき、久しぶりに清々しい気持ちを感じることができた。

また、事前準備や参加者への連絡・調整など、開催にはものすごく大変な準備が必要であるが、富士五湖クラブの皆さんの熱い熱意によって成り立っていることを、肌で感じた。私は前日から原会長宅に泊めていただき、充実した時間を過ごした1日であった。感謝。

<西東京YMCA便り>

出沼一弥

4月のプログラム報告

4 / 5	「TeenS」4月例会	小金井公園	6名
4 / 9	「にこにこ」4月例会	多摩動物公園	6名
	「ロビンソン」4月例会	多摩動物公園	21名
4 / 16	「Smile」	武蔵国分寺公園	13名
	「あおぞら・つばさの会」4月例会	昭和記念公園	20名
4 / 23	「シャベルズ・いずみの会」4月例会	小金井公園	20名

5月の主な予定

5 / 14	幼児野外活動「にこにこ」5月例会
	小学生野外活動「ロビンソン」5月例会
5 / 20-21	知的障がい児・者 余暇活動「あおぞら・つばさの会」1泊会
5 / 21	中高生グループ活動「TeenS」5月例会
5 / 27	東京YMCA会員大会
5 / 28	軽度発達障がい児 野外活動「Smile」5月例会
	知的障がい児・者 余暇活動「シャベルズ・いずみの会」5月例会

新体制で2017年度スタート

この4月から職員1人が配属され5名の体制となりました。新しい西東京コミュニティーセンターの職員を紹介いたします。

「はじめまして。今年度より新入職員として西東京コミュニティーセンターの仲間になりました、押山愛紀子(おしやまあきこ)と申します。キャンプネームは子どもの頃よく見ていたセサミストリートという番組から「セサミ」となりました。皆さんから多くを学び、成長していきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。」

新体制となった西東京コミュニティーセンターには、今年度も多くのリーダーが集い、みなさまと共に活動ができたらと願っております。2017年度も豊かなプログラムを展開して参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

5月、その他の予定

5月	6月
• 10日(水) 第一例会	• 3~4日 第20回東日本区大会(川越)
• 13日(土) たんぽぽYS.C. 15周年記念例会 あずさ部評議会	• 10~11日 西日本区大会(熊本)
• 14日(日) オープンフォーラムY	• 14日(水) 第一例会(総会)
• 24日(水) 第二例会	• 28日(水) 第二例会
• 27日(土) 在京クラブ会長会 東京YMCA会員大会	7月
	• 8日(土) 第一回健康増進カフェin国立
	• 12日(水) 第一例会(キックオフ)
	• 21~23日 第27回アジア大会(タイ・チェンマイ)
	• 29~30日 原村例会(八月第一例会)